#### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290700069			
法人名	医療法人社団 聡誠会			
事業所名	グループホームふくろう			
所在地	千葉県銚子市春日町1169			
自己評価作成日	令5年4月10日	評価結果市町村受理日		

#### ※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.	jp/12/index.php

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

62 軟な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム					
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8					
訪問調査日	令5年4月15日					

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

経営母体が医療法人であることから、医療との連携を迅速に図ることができ、入居後の医療に不安を 抱くような

心配はありません。また、職員には看護師もおり、日頃の健康面から将来的に看取り介護も可能で、 心配なく馴染みのあるご自分のお部屋で最期の時まで過ごすことが出来ます。職員1人ひとりが入居 者様の気持ちに寄り添い、いっさい拘束のない安心して過ごせる居場所作りを大切にしています。月2 回の専門職による音楽療法を取り入れており、音楽を通して脳の活性化、心身の健康の維持・向上、 若返りを図っています。ご家族の皆様には離れて生活していても安心していただけるように、ホームで のみな様の様子を伝える「ふくろう通信」と、個人の毎日の様子をお伝えする一行日誌を毎月お届けし

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

た造りとなっている。母体法人が医療法人であり、医師と24時間連絡が可能となっており、緊急時・急変時の体制が整備されていると共に、看護職員による状態変化に応じた適切かつ迅速な対応が行われており、入居者や家族の安心に繋がっている。定期的に施設広報誌「ふくろう通信」や入居者一人ひとりの毎日の生活状況を綴った「一行日記」を送付しており、家族との信頼関係構築に繋げている。日頃から、散歩や買い物、ドライブ等を実施しており、戸外での楽しみを支援していると共に、施設内活動の充実化や音楽療法等の実施により、入居者の心身や生活の活性化を図っている。また、食事については、月に2~3回特別メニューを提供していると共に、お寿司やマクドナルドのテイクアウト、手作しおめつ等を実施しており、企の窓上みを支援していると共に、お

V.	サービスの成果に関する項目(アウトカム項目	目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自	己点検	したうえで、成果について自己評価します		
	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	↓該닄	取り組みの成果 当するものにO印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 〇 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぽ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 〇 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが				•

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+-)+(Enter+-)です。〕

自	外	項目	自己評価	外部評価	<u> </u>
Ē	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.E		に基づく運営			
1	(1)	〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有し て実践につなげている	られるようにしている。職員と利用者のその	施設理念と運営方針を事業所内に掲示していると共に、会議を通じて全職員で共通認識を図っており、利用者本位の支援に努めている。	
2	(2)	〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	町内会に加入し、町内の敬老会に参加したり、近隣施設とはお互いの行事に声をかけ合い行き来させていただきている。当施設の行事の際には町内会の方々にも声をかけ交流を図っている。コロナ禍ですっかり地域との交流が途絶えているが、いずれ復興できたらと思っている。	町内会に加入していると共に、日頃の挨拶 やの差し入れ等を通じて、地域との関係を大 切にしている。また、ボランティアによる音楽 療法を実施しており、入居者の生活活性化 に繋げている。コロナ禍の為、地域行事の参 加や実習生・中学生の職場体験等の受け入 れは見合わせているが、今後は状況を見て 再開したいと考えている。	
3		〇事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向け て活かしている	認知症の方々を少しでも理解していただけるように、毎年市内中学校の職場体験を受け入れている。また、ボランティアを積極的に受け入れている。認知症ケアに関する相談にも対応している。コロナ禍で今年度の職場体験が中止となり、地域貢献が出来ていない。		
4		〇運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の現状報告や行事ないよう、職員の 研修状況などを報告し、推進委員との意見 交換、質疑応答を通じて今後のサービスに 反映できるよう努めている。他施設や地域 の情報等を得て、実際の取り組みに活かせ るよう努めている。	会議では、施設の活動報告や意見・情報交換、身体拘束廃止委員会を行い、相互理解	
5	(4)	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域実務者会議、主任ケアマネ会議など、 地域で行われる勉強会へ積極的に参加し、 地域との連携を図っている。市や地域包括 支援センターとも協力体制を築いている。	業務における相談や報告を通して、日頃から市と連携を図っている。また、市主催の研修に参加しており、サービスや運営の向上を図っている。	

自己	外		自己評価	外部評価	西
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(-,	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解 しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしない ケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を立ち上げ、3ヶ月に1度の勉強会を実施し職員全員の理解を深め、当初からの身体拘束をいっさい行わない介護を自信をもって実践している。	身体拘束排除における指針を整備していると共に、定期的に運営推進会議で身体拘束廃止委員会を開催しており、身体拘束の無い支援を実践している。また、身体拘束排除における内部研修の実施やマニュアルの整備を通じて、全職員で共通理解と意識向上に努めている。	
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職員は身体拘束廃止・虐待防止の研修会に全員参加しており、高齢者虐待法を理解し、日々虐待が行われる事のない雰囲気作りに努めている。万が一虐待があった場合も早期発見出剪宇よう心がけている。		
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう 支援している	職員は認知症介護実践者研修等で日上生 活自立支援事業や成年後見人制度を学び 理解している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	契約・解約をする際は、ご家族の疑問や不安が解消されるまで十分な説明を行うよう 心掛けている。		
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	ふくろう通信や一行日誌などでホーム内の日々の様子をお知らせしたり、その中で職員の思いもお伝えすることで、ご家族が来訪時などに意見や要望を表出しやすいように努めている、また、出された意見は必ず職員間で話し合い、今後のサービスに反映できるよう努めている。	家族の面会や電話連絡の際に意見や要望を確認しており、入居者や家族本位の支援に努めている。「ふくろう通信」や「一行日誌」を毎月家族に発行しており、写真や文書により、入居者の生活や活動状況を伝えている。	
11		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者・管理者は職員が気軽に意見や要望を言える雰囲気を作り、しっかり聞くように心がけている。日々の申し送りやカンファレンスで意見交換した内容も代表者に伝え、反映できるよう努めている。	日々の申し送りや定期的なカンファレンスを通じて、職員から意見や提案を確認している。また、管理者と職員が個別に話をすることにより、働きやすい職場環境の整備を行っている。その他、忘年会の実施等により、職員間の親睦を深めている。	

白	外		自己評価	外部評価	<del>1</del>
自己	外部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	職員個々のスキルを配慮した給与体制を取り、向上心を持って働けるように努めている。また、介護職員処遇改善交付金を申請し、介護職員の収入増を図っている。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員を対象に、認知症介護基礎研修や 実践者研修、リーダー研修をはじめとする 外部研修には積極的に参加できる体制を 取っている。また、研修で得た知識は内部 勉強会を行い、知識・情報が共有できるよう 努めている。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	地域で開催される会合や研修へは積極的に参加し、同業者・多職種間との地域ネットワークを育んでいる、それらの参加、活動を通しサービス向上に取り組んでいる。		
II .5	と 心	と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		〇初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人 の安心を確保するための関係づくりに努めている	おでゆったりとした雰囲気で接するように心		
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	入居前にホーム見学に来ていただき、その 段階からできる限り多くの生活歴等の情報 をいただき、ご家族の要望、不安等を理解 し受け止めることで、ご家族の不安の軽減 が出来るように努めている。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者本人・ご家族との話し合いにより、 生活歴・ライフスタイルを知り、求めている サービスを把握した上で課題を明らかに し、わかりやすく説明し理解いただくよう努 めている。		

自己	外	項目	自己評価	外部評価	ш ]
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者ご本人が決めたり、希望を表現することを大切にしている。日常生活での手伝いを通じて昔ながらの知恵を教えてもらったり手助けしてもらえるとありがたいという、職員からの感謝の気持ちを伝えるようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人 を支えていく関係を築いている	ご利用者本人の想いを聴いたり、心情を察し、ご家族と職員の間でその情報を共有できるように連絡をとりあい、ご本人の想いが実現できるよう、必要であればご家族に協力していただいている。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	軽に訪問できるよう努めている、また、入居 時には馴染みのお店などを聞き、入居後も	係継続を支援している。また、地域の商店での買い物やお花見・ドライブ等の実施により、馴染みの場所との関係も大切にしている。その他、訪問理美容等の地域の社会資	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立 せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう な支援に努めている	ご利用者同士の関係は全職員が情報共有 し把握している、また、ご利用者個々の性 格等も把握しており、必要時は職員が仲を 取り持つなど、ご利用者間で助け合いなが ら過ごせるような関係性を築けるよう心が けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人・ご家族が得たい情報がある時には 情報提供をし、必要時には相談、支援でき るよう努めている。		
Ш.		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン	<b>h</b>		
23	(9)	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている		本人や家族から意向を確認していると共に、 医療機関からも情報を把握している。また、 日頃の会話や観察等から本人の思いを把 握し、会議・連絡ノート・申し送り等を活用し て、全職員で情報を共有している。	

自	外		自己評価	外部評価	<b>I</b>
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活 環境、これまでのサービス利用の経過等の把握 に努めている	ご家族から生活歴や生活習慣、生活環境、 趣味、これまでのサービス利用の経過など を聞き、ご本人からも日常の会話の中でそ れらを聞き取り把握できるよう努めている。		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	職員が一人ひとりと関わる中で、日常の状態を把握し、新たな事柄や想いなどを知り 得た情報があったり変化があった時には申 し送りやカンファレンスで確実に伝え合い、 職員間で情報共有できるよう努めている。		
26	(10)	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合 い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状 に即した介護計画を作成している	ご家族からの情報、職員が日々か関わりを持つ中で気づいたご本人の希望する生活や課題をアセスメントし、カンファレンスで話し合い介護計画を作成している、その後ご家族に提示し意見をもらい、経過をモニタリングしている。	本人・家族の意向を基に会議で検討の上、介護計画を作成している。定期的に目標の達成状況の確認及び評価を実施しており、必要に応じて支援内容の見直しを行い、現状に即した計画作成に努めている。	
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人・ご家族の状況に応じた柔軟な対応 に努めている。通院の支援や必要サービス 機関の紹介、提出書類の代行など支援でき るよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している			

自己	外	項目	自己評価	外部評価	<u>t</u>
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援し ている	ご利用者またはご家族が希望している医療機関を受診していただいている。かかりつけ医には日常の健康状態、日々のバイタルチェック表など必要な情報提供をしている。経営母体であるクリニック医師とは常時連絡をが取れるようになっている。	希望の医療機関への受診を家族と協力しながら支援している。また、必要に応じて内科や歯科の往診を実施しており、適切な医療支援に努めている。協力医療機関とは、24時間連絡が可能となっており、緊急時や急変時における協力体制を構築している。また、看護職員による健康管理や医療相談等も行っており、入居者や家族の安心に繋がっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝 えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護 を受けられるように支援している	3名の看護スタッフがおり、介護食とはご利用者の日々の状態変化や身体目精神面での気づきや介護上の不安点などを報告、相談しながら介護にあたっている。看護職がすぐに対応できることから、早期発見、早期対応が出来、適切な医療受診への支援にもつながっている。		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう に、又、できるだけ早期に退院できるように、病院 関係者との情報交換や相談に努めている。ある いは、そうした場合に備えて病院関係者との関係 づくりを行っている。	の生活トのアドバイスを受ける等 医療機		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早 い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業 所でできることを十分に説明しながら方針を共有 し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組ん でいる	長くなったり状態が変化してきた方には、その時点で改めてご家族の意向を確認するようにしている。看取りについての指針作成、ご家族の意向を尊重して同意書を作成するようにしている、	しており、契約時に説明の上、同意を得ている。また、終末期・重度化の対応については、家族の意向を確認の上職員間で検討を重ねると共に、医師と連携を図りながら、で	
34		〇急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時の対応方法を勉強化 等で確認し合い、必要連絡先は常時電話 機の傍に提示している。急変時の前触れと なる健康状態の把握についても、シグナル を読み取ることに努め、予防を心掛けてい る。		

自己	外		自己評価	外部評価	ш Т
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている	火災等を想定した避難訓練は防火管理者 研修を修めた職員を中心に企画し、年2回 行っている。災害対策マニュアルを作成し、 地域施設と連絡を取り、非常時避難先の確 保も出来ている。	スプリンクラー・火災報知器・自動通報機等 の消防設備を設置している。また、年2回、 消防避難訓練を実施しており、夜間想定訓 練や消火器訓練、通報訓練等を通して、災 害時の対応を身につけている。	
		人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(14)	〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシー を損ねない言葉かけや対応をしている		人らしさを大切にした支援に努めている。また、会議や研修等で、プライバシーや接遇に	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、 自己決定できるように働きかけている	ご利用者が自己決定できるように、一人ひとりに合わせ支援している。ご利用者の話を遮ることなく受け止め、上手く表現できない方はその方が理解できる声掛けをし、表現される様々なことから想いや希望を受け止めている。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間、レクリエーションへの参加など毎日の事もご利用者本人のご希望、状況に合わせた支援を行っている。何をするにもまず声掛けから始まり、一人ひとりの反応や希望を考慮し、その日その時のご本人の意向に添って過ごせるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	一人ひとりのおしゃれ、身だしなみなどの好み、生活習慣を継続して楽しむことができるように支援している。理・美容もご本人が望む馴染みのお店に行けるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に 準備や食事、片付けをしている	毎日の食事は配食サービス(食材)に依頼しているが、定期的に、特にコロナ禍はせめて食事を楽しんでいただけるようにご利用者の好みに合わせたテイクアウト商品を利用したり、ご利用者と一緒に手作りメニューを考案し、変化のある食事を楽しんでいただいている。職員が一緒に食事をしながら様子を見守り、必要に応じた支援を行っている。準備や片付けも個々の能力に応じた対応を行っている。	献立と食材については業者を活用しており、 栄養バランスに配慮した食事提供を行っている。調理や下膳等については、入居者の個々の力を活かしながら職員と協働で行っている。月に2~3回特別メニューの食事を提供していると共に、お寿司やマクドナルドのテイクアウト、手作りおやつ等を実施しており、食の楽しみを支援している。	

自己	外		自己評価	外部評価	ш
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	1日を通した食事・水分摂取量を確認し記録している。一人ひとり食べるペースや体調に合わせた声掛け、見守り、介助を行っている。水分は1日少なくても800mlは摂取できるように支援している。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	毎食後の歯磨きを促し、個々の能力に応じた見守りや介助を行っている、義歯は夜間預かり消毒している。レクリエーション時に口腔体操も行っている。		
43	(16)	〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を記録することで排泄パターンを把握し、トイレ誘導を促している。夜間もトイレ誘導を行い、個々の能力に応じた支援を行っている。	排泄チェックリスト表等を活用しながら個々の排泄パターンを把握しており、適切な排泄を支援している。また、食事や水分に配慮していると共に、運動を取り入れる等、便秘の予防・対応に取り組んでいる。必要に応じて医師や看護師に相談を行い、適切な排便コントロールに努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	適切な食事・水分摂取量が確保されるように注意している。また、楽しみながら運動できるように支援している、便秘傾向の方には適切な下剤使用を工夫している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回は入浴していただけるようにしている。湯の温度や洗い方などの要望を聞きながら、入浴剤や季節に合わせた菖蒲やゆずなども利用し、入浴を楽しめるよう支援している。リフトを設置し、浴槽をまたげなくなってしまった方にもゆったりと湯船で温まってもらえるよう支援している、また、入浴を拒まれる方には無理強いせずシャワー浴や清拭などでも対応している。		

自己	外	以	自己評価	外部評価	
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者の心身の状態に応じて、個々の生活パターンに休める場を設けるように支援している。一人ひとりの睡眠パターンを把握し、夜間眠れない方にはリズム作りの支援を行うなど、出来るだけ薬に頼らず安眠できる支援に努めている。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	服薬の管理は職員が行っている。ご利用者 の薬の内容はファイルしてあり、すぐに確認 ができるようになっている、ご利用者個々の 能力に応じた服薬支援を行っており、服薬 に注意が必要な場合は情報共有し、症状 変化の確認に努めている。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者本人・ご家族から得た情報を活かし、入居前に楽しまれていたことは続けられるように支援している。また、出来る能力は最大限に活かしていただけるような役割を持ってもらうようにしている。季節や外の空気を感じ喜びに繋げることができるよう、ドライブや散歩も良く行っている。		
49	(18)	〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	月毎の行事担当者がその季節やご利用者の希望に合わせ、花見や寺社参拝に出かけたり、外食に出かけている。気分転換を図り馴染みの場所をドライブしたり、馴染みのお店に買い物に出かけるなどの支援を行っている。コロナ禍でのご家族との外出は控えていただいている。	日頃から、散歩や買い物、ドライブ等を実施しており、戸外での楽しみを支援している。コロナ禍の為、外出会や外食の実施は見合わせているが、施設内活動の充実やボランティアによる音楽療法の実施等により、入居者の心身や生活の活性化を図っている。	
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援している	お金に対しての想いは個々のよって異なり、管理能力も異なるため、他者とのトラブル回避のために職員が預かり、必要に応じて使えるように支援している。所持金がないと不安を訴える方には万が一紛失してもかまわない程度のお金をご家族承諾の上持っていただくなどの対応をしている。		

自	外		自己評価	外部評価	
自己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	ご利用者が電話をかけたいと希望する時には本人の想いに応じて支援している。ご利用者宛ての手紙などは、本人が読めない時には代読するなど、必ず届くように支援している。		
		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	他にソファーがあり、共有スペースの中でも お好みの場所でゆっくりくつろげる空間作り		
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	共有空間が大きなホールで、そこに食事をするテーブルとソファーがあり、仲良しグループや余興のお好みの合う者同士など、その時のご利用者の関係性や行動に合わせて家具を移動するなどしている。一人静かに新聞を読む方には、一人の空間を保てるように配慮している。		
54		〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相 談しながら、使い慣れたものや好みのものを活か して、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる		本人・家族の希望に応じて、馴染みの家具等を持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるよう配慮している。ポータブルトイレやテレビを使用する事も可能となっており、生活歴に合わせた居室作りがなされている。各居室には、鍵や収納が設置されており、個々のプライバシーに配慮している。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	手すりの位置やテーブル、椅子などの高さなど、ご利用者の適切に使える状態になっているかを職員間で確認している。トイレや浴室には見えやすい場所に案内を表示し、個々のお部屋にも本人の名前や写真を貼るなど、ご利用者がわかりやすいような環境作りに努めている。		